

頭

(一) 决行後、

務

説明ターゲット

次の原稿破損

9 年 / 月 23 日

主務者又は

撮影立会者 坂根嘉和 

アジア歴史資料センター

(陸亞密) 次官ヨリ南方軍總參謀長、第十四軍參謀長、香港占領地總督部參謀長へ通牒案	(本文別紙ノ通)	陸亞密第三七二〇號	昭和拾七年九月廿九日
(陸亞密) 次官ヨリ第十五、第十六、第二十五各軍參謀長、	「ボルネオ」守備軍參謀長へ通牒案	首題ノ件ニ關シ別紙ノ通牒シタルニ付爲參考送付ス	(別紙ハ次官ヨリ南方軍總參謀長等ニ通牒セルモノトス)
陸亞密第三七二〇號	昭和拾七年九月廿九日	件名 陸軍文官、同待遇者ノ敬稱及稱呼ニ關スル件	

陸軍

(陸亞密) 次官ヨリ參謀次長ハ、教育總監部本部長、陸軍航空

總監部總務部長、直轄官衙學校長及支那派遣軍總

參謀長、關東軍參謀長並ニ内地、朝鮮、臺灣各軍

(航空軍ヲ含ム)、師團參謀長(飛行師團ヲ含ム)

へ通牒案

首題ノ件左記ノ通實施相成度依命通牒ス

左記

軍人對陸軍文官同待遇者及陸軍文官同待遇者相互間ノ敬稱及稱呼ニ
關シテハ現在規定トシテ明示セルモノナキモ軍隊內務書第三章ヲ準
用シ其ノ官等ニ應シ閣下、殿ノ敬稱ヲ用ヒ稱呼ニ在リテモ同章ヲ準
用スル如ク擬トシテ勵行スル様指導スルモノトス

追テ軍人ノ陸軍文官、同待遇者ニ對スル敬禮ニ就テハ南方軍^等別
紙ノ通牒セルニ付爲參考添^付ス

(別紙ハ次官ヨリ南方軍總參謀長等ニ通牒セルモノトス)

0702

建武密第三七二〇號

昭和拾七年九月廿九日



別紙

軍人ノ陸軍文官、同待遇者ニ對スル敬禮、
敬稱及稱呼ニ關スル件通牒

次官ヨリ南方軍總參謀長、第十四軍參謀長、香港占領地總督部參謀長へ通牒

8040

今次戰爭ニ於テハ軍政施行ノ爲多數ノ陸軍文官等之ニ從事スルニ至リ
軍人ト之等陸軍文官トカ和衷協同舉軍一體ノ實ヲ舉クルハ戰爭遂行上
緊要缺ク可ラサルハ諒ヲ俟タス然ルニ之等陸軍文官ニシテ往々軍ノ待
遇ニ不平不滿ヲ抱クモノアリ延テハ内地官民ノ間ニ於テモ陸軍文官ト
シテ南方ニ進出スルヲ躊躇スル傾向ヲ生スルノ虞ナシトセス斯クテハ
軍ノ戦力發揮ハ固ヨリ軍ノ結束ニ影響ヲ及ホシ南方軍政施行上將來ヲ

憂慮セラルルモノアルニ就テハ此等兩者ノ關係調整ニ關シ貴軍ニ於テハ十分顧慮セラレツツアルモノト信スルモ此ノ上トモ注意ヲ倍蕪シ指導相成度右ニ關シ敬禮、敬稱及稱呼ニ就テハ左記ニ依リ實施相成度倭命通牒ス

尙文官ノ官等識別ヲ明瞭ナラシムル件ハ中央ニ於テ目下研究中ナルニ付申添フ

左記

一、敬禮ニ就テ

軍人ノ軍屬ニ對スル敬禮ニ就テハ陸軍禮式令第十七條ニ「制服ヲ着用シタル陸軍文官、同待遇者ニ對シテハ其ノ官等、等級相當ノ軍人ニ對スルト同様ノ敬禮ヲ行フヲ禮トス」ト定メラレアリ本條ノ趣旨

ハ陸軍禮式令ノ本旨ニ則リ居常嚴正ニ本條ノ敬禮ヲ服行シ茲ニ初メ
テ禮讓ヲ生シ、敬上惠下ノ精神ヲ醸成シ和衷協同ノ基礎ヲ爲スモノ
ナルニ鑑ミ本條ノ趣旨ヲ兵ニ至ル迄徹底シ操トシテ嚴ニ敬禮ヲ勵行
セシム

尙陸軍文官、同待遇者ニ對シテモ昭和十五年陸軍第五十七號ニ基
キ陸軍禮式令ヲ遵守セシメ苟モ敬禮、答禮、容儀及態度等ニ關シ
萬遺憾ナキ様指導ス

追テ敬禮勵行ノ爲陸軍軍屬從軍班制ノ官等該別ハ兵ニ至ル迄十分
知得徹底セシム

ニ敬稱及稱呼ニ就テ

軍人對陸軍文官、同待遇者及陸軍文官、同待遇者相互間ノ敬稱及稱

呼ニ聞シテハ現在規定トシテ明示セルモノナキモ然トシテ勵行スル
ノ要ハ敬禮ト同一ナルニ付軍隊内務章第三章ヲ準用シ其ノ官等ニ應
ジ閣下、殿ノ敬稱ヲ用ヒ稱呼ニ在リテモ同章ヲ準用スル様指導スル
モノトス

左ノ追書ハ南方軍總司令官ヨリニ付

追テ第十五、第十六、第二十五軍及「ボルネオ」守備軍ニハ爲參考

送付

通廉濟ニ付申添フ